

第163期 営業のご報告

ミニディスクロージャー誌

平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日



マスコットキャラクター
"シマニー"

ごあいさつ／目次



代表取締役頭取
田頭基典

目次

ごあいさつ／目次	1
新中期経営計画	2
業績ハイライト	3
CSRへの取組み	6
連結財務諸表	11
単体財務諸表	12
島根銀行について	13
株主の皆さまへ	14

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当行は、平成23年4月より2か年計画でスタートしました中期経営計画「躍進の2年」の下、明確な経営戦略に基づき、地域密着型金融に徹した経営を展開してまいりました。その結果、計画期間中、每期連続して創業来最高益を更新することができました。

また、平成24年3月には、株式上場からわずか1年で、東京証券取引所市場第一部への指定を実現することができました。

これもひとえに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまなどステークホルダーの皆さまの暖かいご支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。

こうした実績を踏まえ、今年度から、中期経営計画「元気大集合」（計画期間：平成25年4月～平成28年3月）がスタートいたしました。今後は、本計画に基づき、来るべき創業100周年に向け、引き続きフェイス・トゥー・フェイスの精神の下、地域密着型金融をより一層強化し、お客様の各種ニーズへのスピーディーな対応により、地域の活性化に寄与できる銀行を目指してまいります。

今回、このような経営情報を、より分かりやすく皆さま方にお伝えするために、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたのでご案内いたします。本誌では、当行の経営方針や業績のほか、全行挙げて推進しております「企業の社会的責任（CSR）」への取組みなど、幅広い情報を取り上げております。ぜひご一読いただき、当行に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

これからも地域に根ざした銀行として、当地域の経済を支えていくという重要な使命を全うする所存でございますので、引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

新中期経営計画

中期経営計画「元気大集合」(平成25年4月～平成28年3月)

～ 創業100周年を機に、新たなるステージへ ～

新中期経営計画は、創業100周年を機に、みんなの元気を結集し、全員野球で、新たなるステージへステップアップしようという気持ちを含めて、「元気大集合」とします。「元気大集合」では、前中期経営計画「躍進の2年」の経営戦略である「営業の強化」、「財務の強化」、「人材の強化」、「組織の強化」の4本柱をブラッシュアップした取組みにより、経営理念の下、経営ビジョンの実現を目指します。

営業の強化

- 1 営業エリア特性を活かした営業態勢の強化
- 2 中小企業および個人に対する取引拡大
- 3 ハード・ソフト両面のチャネル強化
- 4 地域密着ブランドイメージの向上

財務の強化

- 1 コア資本の充実
- 2 信用コストの抑制
- 3 有価証券の適正なポートフォリオ構築
- 4 統合的リスク管理の高度化

人材の強化

- 1 営業能力の向上
- 2 適材適所への人事配置
- 3 行員満足度の向上
- 4 コンプライアンス意識の醸成

組織の強化

- 1 内部管理態勢の充実
- 2 開示の一段の充実
- 3 危機管理態勢の充実
- 4 創業100周年記念事業の展開

経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に対応する。
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

経営ビジョン

～フェイス・トゥー・フェイスの精神の下、地域密着型金融をより一層強化し、
お客様の各種ニーズへのスピーディーな対応により、地域の活性化に寄与できる銀行～

中計計数目標

1 | コア業務純益 14億円

2 | 格付 BBB+

3 | コア資本比率 9%

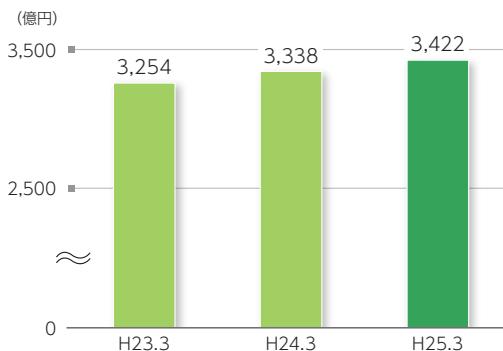
4 | 不良債権比率 4%

業績ハイライト

当行の平成24年度の実績につきましては、様々な施策の実践に努めてまいりました結果、次のようになりました。

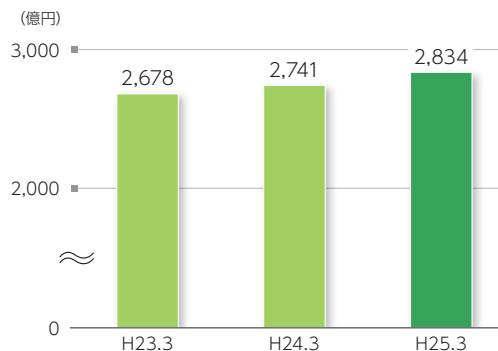
資産の状況

預金



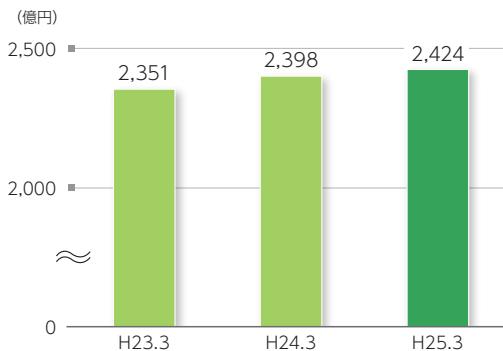
個人預金、法人預金ともに増加したため、全体では期中83億円増加し3,422億円となりました。

個人預り資産



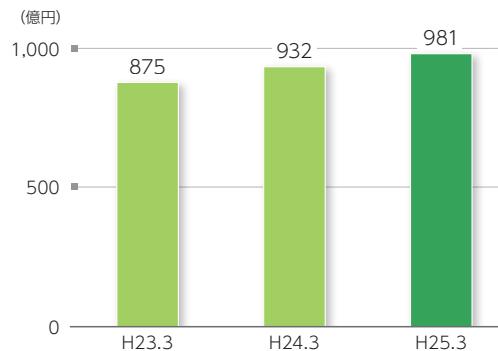
投資信託や公共債が減少しましたが、個人預金や年金保険等が増加したことから、全体では期中92億円増加し2,834億円となりました。

貸出金



地公体向け貸出が減少しましたが、大企業向け貸出や、住宅ローンを中心とした個人向け貸出が増加したため、全体では期中26億円増加し、2,424億円となりました。

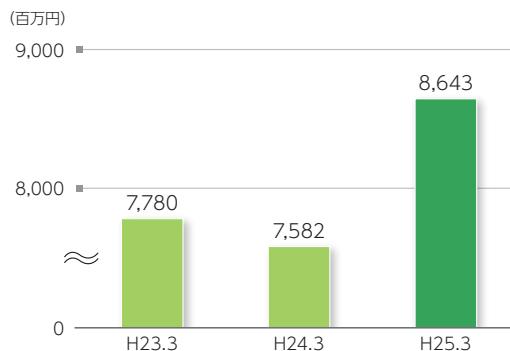
有価証券



市場動向に配慮し、効率的な運用に努めた結果、全体で期中48億円増加し981億円となりました。

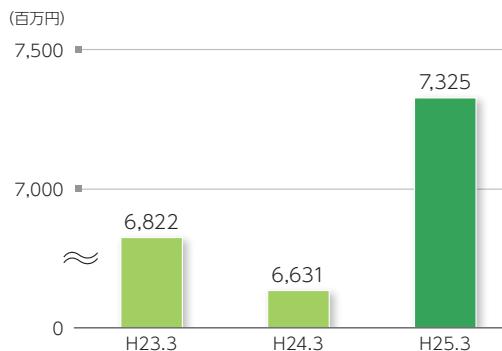
損益の状況

経常収益



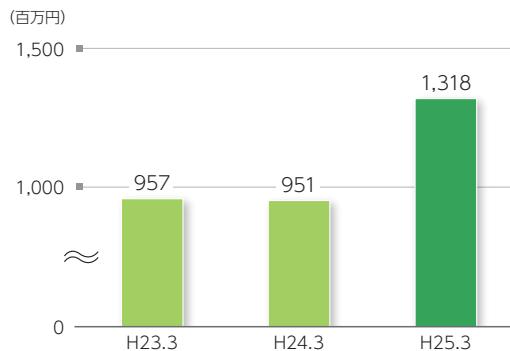
市場金利の低下に伴う貸出金利回りの低下を主因として貸出金利が減少しましたが、有価証券関係収益が増加したことなどから、前期比1,061百万円増収の8,643百万円となりました。

経常費用



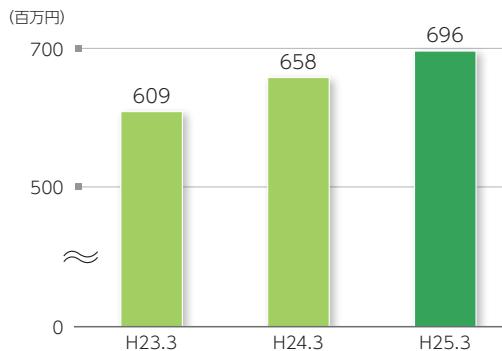
営業経費が減少しましたが、株式等売却損や与信関連費用が増加したことなどから、前期比694百万円増加し7,325百万円となりました。

経常利益



前期比366百万円増益の1,318百万円となりました。

当期純利益



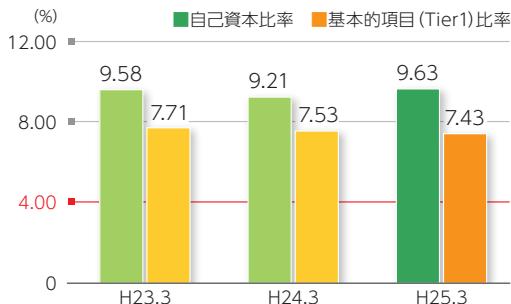
前期比38百万円増益の696百万円となり、4期連続して過去最高益を更新しました。

業績ハイライト

健全経営の状況

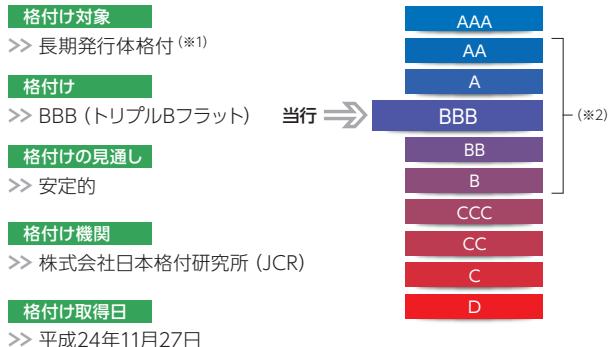
自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。



格付け

当行では、経営の透明性の確保に向けた積極的なディスクロージャーの一環として、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまなどステークホルダーの皆さまに客観的な第三者機関からの評価を提供するため、株式会社日本格付研究所 (JCR) の長期発行体格付を取得しております。



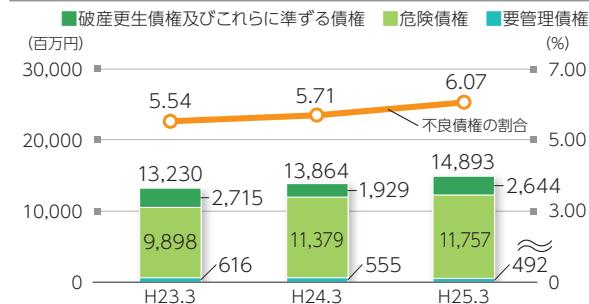
(※1) 長期発行体格付とは、債務者 (発行体) の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を比較できるように等級をもって示すものです。

(※2) AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス (+) もしくはマイナス (-) の符号による区分があります。

不良債権の状況

金融再生法開示債権額の総額は、14,893百万円、不良債権の割合は6.07%となっております。

金融再生法開示債権額



株価の状況

当行株式は、平成23年3月15日の東京証券取引所市場第二部への上場からわずか1年で、同市場第一部銘柄に指定されております。

(円)

	平成23年3月15日~31日	平成23年4月~平成24年3月	平成24年4月~平成25年3月
終値	784	1,198	1,310
最高	890	1,320	1,429
最低	610	771	970

(注1) 終値及び最高・最低株価は、平成23年3月15日から平成24年3月14日までは東京証券取引所市場第二部におけるものであり、平成24年3月15日からは東京証券取引所市場第一部におけるものです。

(注2) 当行株式の平成23年3月における公募増資の発行価格及び第三者割当増資の売出価格は560円です。

株価 (終値) の推移



CSRへの取り組み

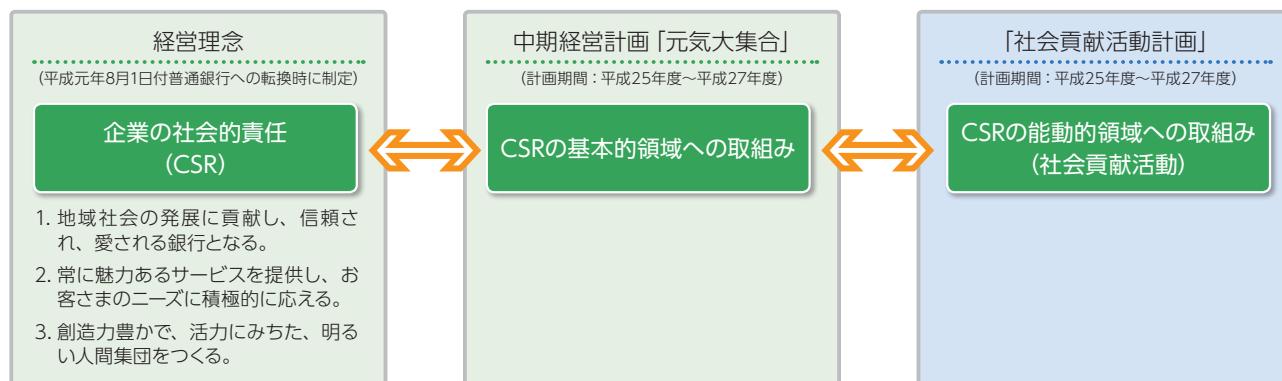
企業の社会的責任 (CSR) に対する当行の考え方

当行は、従来から企業の社会的責任 (以下、「CSR」という。) の重要性を強く認識し、CSRへの取り組みを「経営理念」の一つとして掲げた上で、この具体的な取り組みを経営計画などで明確化し、実効性を確保しております。

その具体的な取り組みにおいては、CSRの基本的領域とも言うべき、経済的責任、遵法責任、倫理的責任を果たすべく、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などに向けた取り組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などのステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、地域貢献や地域環境の保全など、能動的領域の取り組みとも言うべき、社会貢献活動についても従来から積極的に推進しております。

また、取り組みにあたっては、ステークホルダーの皆さまとの繋がりが何よりも重要であると考え、法令等で開示が求められている事項はもちろんのこと、「しまぎん経営情報説明会」(山陰地区6カ所で年1回開催) やディスクロージャー誌 (年2回発行)・ミニディスクロージャー誌 (年4回発行) を通じて、社会貢献活動に関する情報を積極的に開示しております。

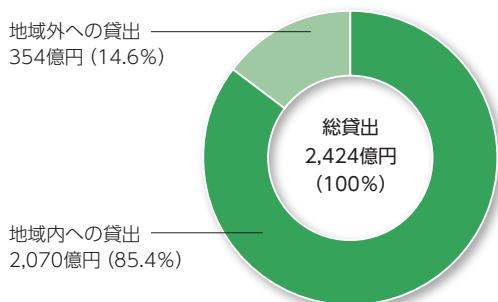
平成25年度～平成27年度においては、4月より新たにスタートした、中期経営計画「元気大集合」(計画期間:平成25年4月～平成28年3月〈3年間〉) に加え、当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した、「社会貢献活動計画 (計画期間:平成25年4月～平成28年3月〈3年間〉)」に基づき様々な取り組みを実施することにより、企業価値の向上を図り、経営理念の具現化並びにCSRの全うを目指してまいります。



CSRへの取り組み

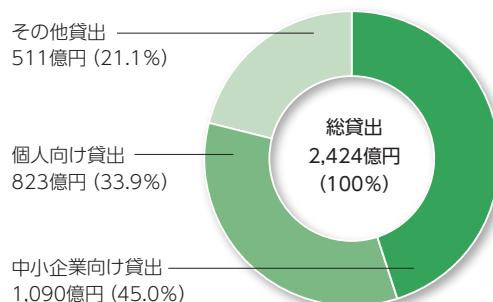
地域内における貸出状況 (平成25年3月31日)

地域のお客さまからお預かりした大切なご預金のほとんどを地域内の貸出に向けており、その残高は貸出金全体の85.4%を占めております。



中小企業や個人のお客さまへの貸出状況 (平成25年3月31日)

地域の中小企業や個人のお客さまへの貸出を積極的に行っており、その合計残高は貸出金全体の78.9% (うち、中小企業向け貸出45.0%、個人向け貸出33.9%)を占めております。



「中小企業金融円滑化法」への対応状況 (平成25年3月31日)

平成21年12月4日に施行され、平成25年3月31日を以て終了いたしました「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」(中小企業金融円滑化法) に対しましては、貸付条件変更等の措置の実施に関する取り組み方針*に基づき鋭意取組んだ結果、取組み状況は以下のとおりとなりました。

区分		件数 (件)	金額 (百万円)
中小企業者	受付	3,154	57,823
	実行	2,953	54,595
	謝絶	83	1,620
	取下	103	1,478
	審査中	15	130
住宅資金借入者	受付	301	3,286
	実行	186	2,091
	謝絶	32	289
	取下	81	882
	審査中	2	24
合計	受付	3,455	61,109
	実行	3,139	56,686
	謝絶	115	1,909
	取下	184	2,360
	審査中	17	154

*詳しくは当行ホームページ (<http://www.shimagin.co.jp/other/enkatsuka.html>) をご覧下さい。

社会貢献活動計画

当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した「社会貢献活動計画」に基づき、その実践に努めてまいります。

■ 社会貢献活動の枠組み

当行における社会貢献活動の枠組みは、以下のとおりでございます。



CSRへの取組み

地域振興への取組み

■ 各種セミナー等の開催

「しまぎん住宅金融学校」の開催

主に建設業を営まれるお客さまを対象に、平成15年度から、「しまぎん住宅金融学校」(参加費無料)を開催し、住宅に関する専門知識や経営・営業に関する内容等、お客さまのお役に立つ様々な情報を提供しております。

平成24年度においては、昨年度大変好評をいただきましたカリスマ住宅営業マンとして有名な田中敏則氏を再び講師にお招きし、「100%紹介営業 実績を支える“お客様第一主義・現場第一主義”～日本で一番住宅を売る営業マンの極意伝承～」をテーマとして開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。(参加実績5会場計…94社155名)



地域貢献への取組み

■ 地元プロスポーツチーム「島根スサノオマジック」の支援

“GO!GO!マジック ドリーム定期預金”の取扱い及び“しまぎん冠ゲーム”の開催

地域の活性化に少しでもお役に立ちたいとの思いから、島根県初のプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」を支援する取組みを行いました。

具体的には、平成24年11月1日～平成25年1月31日にかけて“GO!GO!マジック ドリーム定期預金”の取扱いを行ったほか、平成25年2月16日、17日の2日間にかけて、当行が冠スポンサーとなる“しまぎん冠ゲーム”を開催しました。“しまぎん冠ゲーム”においては、上記定期預金にお預け入れいただいたお客さまの中から抽選で計32名をご招待させていただいたほか、ハーフタイムイベントとして、一般公募参加によるミニゲームを開催するなど、地域の皆さまと一体となって会場の雰囲気盛り上げることができました。



お客さま利便性向上への取組み

■ 視覚障がいをお持ちのお客さまの利便性向上

当行では、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心して当行をご利用いただけるよう、従来より、点字ブロックの設置、音声ガイダンス機能付ATMの設置、普通預金取引明細表の点字サービス(取扱手数料:無料)の取扱いなどを行っております。加えて、平成24年6月18日より、ユニバーサルデザインを採用した新通帳の取扱いを開始いたしました。

この新通帳は、色覚の個人差を問わず、色弱の方や視力の衰えたご年配の方でも見やすい文字体(UDフォント)と色使いを採用しております。



社会問題への取組み

■ 振り込め詐欺被害への対応

「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」に基づき、振り込め詐欺等により被害を受けられた皆さまに対する被害回復分配金の支払制度があります。

本制度は、犯人の指定口座に残高がある場合は、その残高の範囲内で被害を受けられた方へ被害回復分配金をお支払いする制度です。

当行では、振り込め詐欺等の犯罪被害資金を当行の口座に振り込まれたお客さまからのご相談を、右記により受付けております。

ご相談窓口

受付部署：島根銀行業務管理グループ

電話番号：0852-24-1237

受付時間：月～金曜日

AM9:00～PM5:00

(土・日・祝日・銀行休業日は除く)

〈 取引時確認へのご協力のおお願い 〉

「犯罪による収益の移転防止に関する法律」に基づき、金融機関では預金口座の開設や10万円を超える現金での振込を行う際などには、ご本人の確認をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

*詳しくは最寄の店舗にお問い合わせ下さい。

環境問題への取組み

平成22年1月より展開されている地球温暖化対策推進国民運動「チャレンジ25キャンペーン」の趣旨に賛同し、このキャンペーンが推進する6つのチャレンジに取組んでおります。この取組みの一環として、「クールビズ」「ウォームビズ」の取組みや、徒歩、自転車、公共交通機関での通勤を促進する「全店一斉ノーマイカーウィーク」の取組み、さらに、環境省の呼びかけによる、 unnecessary 照明の消灯、早期退行などによりライトダウンを実施する「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」等の取組みを行っております。

チャレンジ
25
未来が変わる。日本が変わる。

職場環境整備への取組み

■ 業績優秀者の賞賛

店舗別の賞賛に加え、個人での賞賛制度を設けており、業績優秀者に対しては表彰のほか、海外をはじめ外部研修派遣等のインセンティブを付与することにより、目標意識の高揚を図っております。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
資産の部	
現金預け金	12,519
コールローン及び買入手形	12,800
有価証券	97,698
貸出金	241,791
外国為替	0
リース債権及びリース投資資産	3,319
その他資産	1,697
有形固定資産	5,193
無形固定資産	395
支払承諾見返	7,827
貸倒引当金	△ 4,352
資産の部合計	378,890
負債の部	
預金	341,961
借入金	6,113
社債	1,860
その他負債	1,945
退職給付引当金	241
役員退職慰労引当金	230
睡眠預金払戻損失引当金	16
偶発損失引当金	43
繰延税金負債	493
再評価に係る繰延税金負債	665
支払承諾	7,827
負債の部合計	361,398
純資産の部	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	6,009
自己株式	△ 42
株主資本合計	13,076
その他有価証券評価差額金	3,297
土地再評価差額金	1,099
その他の包括利益累計額合計	4,397
少数株主持分	18
純資産の部合計	17,491
負債及び純資産の部合計	378,890

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
経常収益	10,666
経常費用	9,302
経常利益	1,363
特別損失	2
税金等調整前当期純利益	1,361
法人税、住民税及び事業税	679
法人税等調整額	△ 46
法人税等合計	633
少数株主損益調整前当期純利益	728
少数株主利益	0
当期純利益	728

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

第163期末 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成25年3月31日現在)
資産の部	
現金預け金	12,093
コールローン	12,800
有価証券	98,161
貸出金	242,486
外国為替	0
その他資産	728
有形固定資産	5,030
無形固定資産	347
支払承諾見返	7,827
貸倒引当金	△ 4,160
資産の部合計	375,315
負債の部	
預金	342,242
借入金	3,592
社債	1,500
その他負債	1,643
退職給付引当金	241
役員退職慰労引当金	228
睡眠預金払戻損失引当金	16
偶発損失引当金	43
繰延税金負債	568
再評価に係る繰延税金負債	665
支払承諾	7,827
負債の部合計	358,569
純資産の部	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	5,281
自己株式	△ 42
株主資本合計	12,348
その他有価証券評価差額金	3,297
土地再評価差額金	1,099
評価・換算差額等合計	4,397
純資産の部合計	16,745
負債及び純資産の部合計	375,315

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第163期 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
経常収益	8,643
経常費用	7,325
経常利益	1,318
特別損失	2
税引前当期純利益	1,316
法人税、住民税及び事業税	669
法人税等調整額	△ 50
法人税等合計	619
当期純利益	696

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

島根銀行について

会社概要 (平成25年3月31日現在)

創業年月日	大正4年5月20日
本店所在地	島根県松江市東本町二丁目35番地
URL	http://www.shimagin.co.jp
資本金	66億36百万円
店舗数	34店 (島根県25店、鳥取県9店)
従業員数	434名
預金残高	3,422億円
貸出金残高	2,424億円



島根銀行 本店

役員一覧 (平成25年6月27日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	田 頭 基 典
常務取締役	野 田 哲 也
常務取締役	山 根 良 夫
常務取締役	鈴 木 良 夫
常務取締役	小 谷 栄
取締役 (人事財務グループ部長)	青 山 泰 之
取締役 (市場営業グループ部長)	若 槻 明 彦
常勤監査役	濱 田 寛
監査役 (社外)	周 藤 滋
監査役 (社外)	石 原 明 男
監査役 (社外)	岡 崎 勝 彦

関係会社 (平成25年3月31日現在)

○ 松江リース(株)

当行の子会社であり、リース業務を行っております。

住所 …………… 島根県松江市西津田一丁目5番18号

設立年月日 …… 昭和56年4月25日

○ しまぎんユーシーカード(株)

当行の関連会社であり、クレジットカード業務を行っております。

住所 …………… 島根県松江市朝日町485番地8

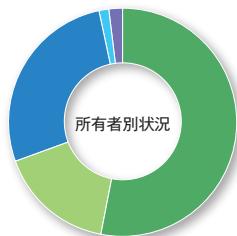
設立年月日 …… 平成9年10月22日

株主の皆さまへ

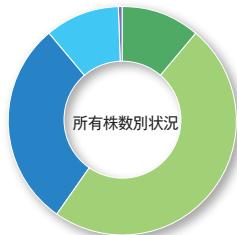
株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	18,600千株
発行済株式の総数	5,576千株
株主数	4,231名
議決権を有する株主数	3,509名

株式分布の状況 (平成25年3月31日現在)



個人・その他	53.2%
金融機関	16.3%
国内法人	27.4%
外国法人	1.4%
証券会社	1.7%



1単元未満	0.4%
1単元以上10単元未満	11.3%
10単元以上100単元未満	48.7%
100単元以上1,000単元未満	29.1%
1,000単元以上	10.5%

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当金:3月31日 中間配当金:9月30日
株式事務 取扱場所	株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
同事務取扱場所	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店

〔郵便物送付先〕
お問合せ先

〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843

公告掲載方法 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
決算公告については、当行ホームページに掲載して行います。

ホームページアドレス
<http://www.shimagin.co.jp>

IRカレンダー

7月	… 第1四半期決算短信開示・ディスクロージャー誌発行・6月期ミニディスクロージャー誌発行・経営情報説明会
8月	… 第1四半期報告書提出
11月	… 中間決算発表・第2四半期報告書提出
12月	… 9月期ミニディスクロージャー誌発行



平成25年6月発行
株式会社島根銀行
島根県松江市東本町二丁目35番地
URL : <http://www.shimagin.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この報告書は環境に配慮した植物油インキを
使用しています。